

## 第24回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

- 日 時 令和元年12月23日（月）午後2時～午後3時
- 場 所 宇都宮市役所 14階 大会議室
- 内 容
- 1 開 会
  - 2 あいさつ（森本委員長）
  - 3 報 告
    - (1) JR宇都宮駅東側の工事の進捗状況について
    - (2) LRTデザイン部会における「停留場壁面の個性化」の検討状況について
    - (3) 「LRTまちづくり部会」の設置について
    - (4) 「芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会」の設置について
  - 4 そ の 他
  - 5 閉 会

### 【主な発言の要旨】

#### 3 報告

- (1) JR宇都宮駅東側の工事の進捗状況について・・・資料1

#### 【事務局】

- ・ 資料1 説明

#### 【委員長】

- ・ 皆様から意見等があればお願いします。

#### 【内野委員】

- ・ 工事の進捗状況の詳細な説明を受け、LRTの工事も順調に進んでいることが分かり安心したところである。
- ・ JR宇都宮駅東側では、「宇都宮駅東口整備事業」の工事着手やLRTへの期待感から地価が顕著な伸びを見せるなど、開業前からすでにLRT沿線での状況の変化が見受けられる。
- ・ こうした状況の変化を踏まえると、当初見込んでいた利用者数よりも多くなることが予想されるので、その状況を整理しておいた方がよいのではないか。

### 【委員長】

- ・ 内野委員から大変貴重なご意見をいただいた。
- ・ ご指摘のように、工事が進捗しているとともに、L R T 沿線では活発な動きが見られるところであり、まずは、L R T 沿線の周辺状況が実際にどのように変化しているのかを事務局で整理していただき、まとめ次第、次回以降の検討委員会の中で、報告していただきたい。

### 【事務局】

- ・ 事務局として、L R T 沿線の周辺状況の変化を整理させていただき、まとめ次第、検討委員会の中で、報告させていただく。

### 【各委員，了承】

## (2) L R T デザイン部会における「停留場壁面の個性化」の検討状況について・・・資料 2

### 【事務局】

- ・ 資料 2 説明

### 【委員長】

- ・ L R T デザイン部会の部会長である鎌田委員より補足をいただきたい。

### 【鎌田委員】

- ・ L R T 事業のデザインについては、検討委員会の専門組織であるデザイン部会での検討を経ながら、「トータルデザイン」の手法を用いて統一感、独自性のある車両や施設のつくり込みを進めてきたところである。
- ・ 今回は、停留場に関して、市民・町民に参加していただきながら、独自性を高める「停留場壁面の個性化」について、今後、停留場の整備に取り組むことから、L R T デザイン部会での検討状況を事務局より報告させていただいた。
- ・ 引き続き、個性化のデザイン方針のほか、サインや事業マーク等についても L R T デザイン部会での検討を進め、停留場などの施設の概要について、適宜、検討委員会にも提示しながら、工事に着手していく予定であり、L R T 事業が多くの市民・町民に愛され、全国のモデルとなるよう取り組んでいく。

### 【委員長】

- ・ L R T デザイン部会において、検討が進み次第、事務局から報告していただくことでよろしいか。

【各委員，了承】

(3) 「LRTまちづくり部会」の設置について・・・資料3

【事務局】

- ・ 資料3 説明

【委員長】

- ・ LRTまちづくり部会の部会長である大森委員より挨拶をいただきたい。

【大森委員】

- ・ LRTまちづくり部会については，LRTの整備効果を最大限に発揮できるよう，LRTと一体となった沿線の魅力あるまちづくりについて検討を行う非常に重要な役割を持っていると認識している。
- ・ 9月に部会を設置し，住民・事業者と共有できるLRT沿線の将来ビジョンなどについて，議論を開始したところであり，今後，検討状況について，適宜，検討委員会に報告しながら進めていくので，よろしくお願ひしたい。

【委員長】

- ・ 別紙2のとおり，検討委員会の下部組織として，合計4つの部会が設置されたことになる。
- ・ 具体的には「交通結節点等基盤整備部会」が7月に設置されており，「LRTまちづくり部会」と極めて密接な関係になると思うので，互いの部会が連携を図りながら，まちづくりに向けて1歩2歩と前進するような議論を進めていただきたい。
- ・ それぞれの部会において，検討が進み次第，事務局から報告していただくことでよろしいか。

【各委員，了承】

#### (4) 「芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会」の設置について・・・資料4

##### 【事務局】

- ・ 資料4 説明

##### 【委員長】

- ・ 「分かりやすさ」と「公共性」という悩ましい2つの視点がある。今後、名称検討委員会で議論していただきながら、市民・町民にとって親しみのある停留場の名称を付けていただきたい。
- ・ その他、皆様から意見等があればお願いします。

##### 【望月委員】

- ・ 資料4-2の(1)名称選定に係る基本的な考え方(案)を基に整理していくと資料4-3の名称候補選定基準(案)では、固有の企業の名称が付けづらいと思う。
- ・ また、ネーミングライツの導入については、名称検討委員会とは別に、行政の方で、基本的な考え方を整理するということだが、ネーミングライツの導入に対する基本的な考え方を早く示し、その考え方にに基づき、名称検討委員会の中で、議論を進めて行くことが必要だと思う。

##### 【委員長】

- ・ 富山市の場合はどのような整理をされたのか。

##### 【望月委員】

- ・ 富山市の場合は2つのネーミングライツがある。1つ目は、固有の企業の名称を主な名称として付けた停留場。2つ目は、店舗の名称を副駅名として付けた停留場がある。
- ・ まず、2つ目の方は、LRT沿線にスーパーがあり、LRTを利用して、スーパーを利用しやすくなるよう、店舗の名称を停留場の副駅名として付けたところである。
- ・ 一方、1つ目の方は、ネーミングライツでその企業が手を挙げたことから、その企業名を主な停留場の名称として付け、それ以外の停留場は、従来の地名で停留場の名称を付けたところである。
- ・ 停留場の名称の決め方の中で、固有名詞の方が一般の方々に分かりやすいということであれば、その名称になるかは別とし、ネーミングライツと組み合わせるということもあるのではないかと考える。ネーミングライツを導入しても、その停留場の地域をイメージできないような名称だと適切ではないと考える。

### 【事務局】

- ・ まず、ネーミングライツの導入に対する考え方などを早めに整理し、その考え方を基に、名称検討委員会で議論していきたい。
- ・ 公共性や市民・町民にとっての分かりやすさをどのようにバランスをとっていくかをよく整理して、検討を進めていきたいと考えている。

### 【委員長】

- ・ **資料2**でLRTデザイン部会における「停留場壁面の個性化」の検討状況についての報告があったが、停留場の個性化と名称というのは、関連性があることから、それぞれの部会・委員会で検討を重ねながら、納得のできる結論を導いていただきたい。
- ・ それぞれの部会・委員会において、検討が進み次第、事務局から報告していただくことでよろしいか。

### 【各委員，了承】

## 4 その他

### 【委員長】

- ・ **資料1**～**資料4**の報告を受けて、皆様から意見等があればお願いします。

### 【行政アドバイザー】

- ・ 県庁のLRTに関する窓口をさせていただいていることから、1点お願いがある。
- ・ 依然として、「LRT事業は、市民の理解が得られていないのではないか。」というご指摘を受けることがある。県としては、市の方で、さまざまな取り組みを行っていることから、地元の雰囲気も盛り上がっていると対応している。その例としては、「LRT工事現場見学会」で3倍も超える申し込みがあったことなどである。しかしながら、さまざまな取り組みが市民・町民、ひいては、県民に理解されていないこともある。
- ・ 今後、例えば、「LRTデザイン部会」で検討しているワークショップの開催や「LRTまちづくり部会」での市民の参画、「名称検討委員会」などの取り組みをこれまで以上に広く市民・町民、ひいては、県民に広く周知をしていただければ、段々とLRT事業に対する誤解も解けていくのではないかと思うので、よろしくお願ひしたい。

**【事務局】**

- ・ さまざまな取り組みを行う中で、できるだけの周知活動を行っているところであるが、興味を持って取り上げていただくことは難しい部分もある。
- ・ ご指摘については、今後、より工夫しながら、あらゆる機会を捉え、周知活動に取り組んでいきたい。

**【委員長】**

- ・ ぜひ、市・町・県、あるいは、関連官庁が協力し、一体となった市民・町民・県民へのPR、また、市民理解の促進に努めていただきたい。
- ・ 最後に事務局から連絡事項などがあればお願いします。

**【事務局】**

- ・ 次回の検討委員会については、後日、改めて案内させていただく。
- ・ 以上で、本日の会議を終了する。

以上